

《Embouchure (アンブシュア)》

奏者はReedを加え、あるいはMouth Pieceより息を吹き込み、空気振動を起こすが、この際口唇の構え=Embouchureがきわめて重要である。

Embouchureはしかし、

- 1) 楽器によって違う←「Reed」が違うから
- 2) 演奏者によって違う←口唇の形に個人差があるから

という具合に、きわめて個別的な問題でもある。

《息の消費量》

楽器によって大きく異なる。木管楽器中、たとえばFluteは息の消費量が多く、これに対しOboeは少ない。各楽器のReed構造を考えれば、自然に理解できることと思う。もしFlute・Clarinet・Oboeがそれぞれもっとも吹奏しやすい高さで同時に吹きはじめたら、まずFluteが息切れを起し、Clarinetがこれに続き、Oboeがもっとも長く持続するだろう。Oboeの場合はいわゆる息切れではなく、じつは肺中の酸素欠乏により吹奏できなくなるのである。

金管楽器は、木管楽器より以上に息の消費量が多い。

《Vibrato》

楽器によって事情は異なるが、基本的に擦弦楽器のVibratoとその方法が違う。音高を変化させるのではなく、息の圧力をゆるやかに変化させて音圧の波を生じさせるのである。(ただしTromboneは音高を変える。P39参照)

【移調楽器のこと】

オーケストラの楽器には、記音と実音が一致しない楽器が少なくない。これらを移調楽器と呼ぶ。

○ 1 オクターブの移調楽器

- ◇ 楽器の実音域の記譜には、& や ? の譜表に多くの加線を必要とするので、実音より1オクターブ低く (Piccolo, Celestaの様に)、あるいは実音より1オクターブ高く (Contrabass,